社報 亀今池

かめがいけ

稽古照今

古（いにしえ）を稽（かんが）え、今に照らす

亀八招福稲荷神社（旧御本殿）と新御社殿を望む

北相模総守護社

亀ヶ池八幡宮

http://www.kamegaike.jp/

No.22

平成29年1月

亀八招福稲荷神社 相模原市指定文化財登録

御鎮座八百年奉祝記念・平成の御社殿御神門等御造営事業の一環として当八幡宮旧御本殿を移築して新たにお祀りされた亀八招福稲荷神社の御社殿が、平成二十八年四月一日に相模原市指定文化財として登録されました。

この御社殿内に奉安されていた棟札により文禄五年（一五九六年・安土桃山時代）の建築であることが明らかになり、建築年代の判明する一間社流造社殿としては県内最古になります。

また、桁行二・一六メートル（七・一三尺）は市内で最大規模です。規模の割に装飾的彫刻物が少なく簡素（江戸時代以降の社殿は煌やかな彫刻が施される）で、これは中世的な社殿の面影を残す点でも貴重です。建立年代や形式、規模、意匠などの面から、相模原の神社建築の歴史上、きわめて重要な建造物文化財であります。

亀八招福稲荷神社玉垣刻名御礼

石玉垣の刻名工事を進めておりましたが無事に完成しました。ご奉賛賜りました貴家並びに貴社の彌栄を祈念し感謝申し上げ、ここに御芳名を掲載させていただきます。（敬称略・順不同）

●大柱
総代　清水　亨
総代　小林　亮
総代　鈴木正彦
総代　根岸良郎
㈱田口園芸
谷津建設㈱
●中柱
㈱鳩川漁苑
㈱都市貨物輸送
㈱成川電興
松井建設㈱
㈱ＳＥＴ　ＵＰ
㈲エステート・ユキ
石井　正彦
畑野　五郎
星野　玉
大友　道夫
川上　武宏
武藤由記子
●小柱
清水　惠二
㈲坂本企画
坂本　一正
坂本美由紀
坂本　正太
坂本　華子
坂本　圭一
柴崎　慎二
佐藤　清一
畑　喜代司
㈱大和奉神堂
大貫　幸雄
大貫　和也
岩永　清重
三晃トラスト㈱
上井　利之
安達　晃雄
清水　哲行
石井喜美子
田口　壽俊
吉川知恵子
一般社団法人さがみ
大木　冨雄
㈲大髙運輸
福島　啓至
今商㈱
相原　伸司
㈱むつみ工業
平　　隆
山本　清
青野　武志
的場　隆輝
的場土建㈲
宗田　栄策
千葉　寛爾
岩野　和夫
佐々木昭裕
フォトストーリー㈱
西村　輝昭
金谷　栄一
金谷　幸江
金子　守男
町田　紘一
小菅　一夫
荘田　正治
村井　廣幸
白井　淳
白鷹運輸㈱
㈲和光工業
石川　博之
石川　泰
石川　豊子
田端　素之
明王茶園伏屋
猪股　千秋
稲田　幸子
小野澤セキ子
黒川　智仁
平田　一郎
三ツ井達雄
ライズ工業㈲
志賀　末吉
望月測量登記事務所
福嶋　美男
福嶋知恵子
田中　春一
田中　タケ
㈱豊明石材
坪井　弘明
坪井佑一郎
坪井　僚哉
坪井　俊樹

平成29年 厄年表

厄年とは、人生のうちで心身に何らかの変調をきたしやすい年齢のことをいい、また医学の発達した現代においても、万事に慎んで生活しなければならない年齢として意識されています。人生の区切りである厄年に、心身のさまざまな厄災を除き、明るく清らかな心と健康な体で過ごせるようお祓いを受けるのが、厄除けのご祈願です。

男　性

前厄	本厄	後厄
平成6年生 24才	平成5年生 25才	平成4年生 26才
昭和52年生 41才	昭和51年生 42才	昭和50年生 43才
昭和33年生 60才	昭和32年生 61才	昭和31年生 62才

女　性

前厄	本厄	後厄
平成12年生 18才	平成11年生 19才	平成10年生 20才
昭和61年生 32才	昭和60年生 33才	昭和59年生 34才
昭和57年生 36才	昭和56年生 37才	昭和55年生 38才
昭和33年生 60才	昭和32年生 61才	昭和31年生 62才

ご案内

平成二十九年 節分祭

●斎行日…平成二十九年二月三日（金）
●式典…午後三時
●豆撒き師（年男・年女・厄年の人）のご希望の方は、当八幡宮へお申し込み下さい。（当日も受付けいたします。）

第七回 一心泣き相撲「亀ヶ池場所」

●日時…平成二十九年五月十四日（日）
午前九時半開場
●会場…亀ヶ池八幡宮境内
●応募資格…首のすわった生後六ヶ月位から二歳半位までの男女児
●参加費…一三、〇〇〇円（四股名兜・一升餅担ぎ・福引・祈祷料・御守・その他含む）
●募集人数…百五十名
●募集期間…平成二十九年一月十五日より五月十日まで
●申込・問合せ…Ｗｅｂサイト（http://www.nakisumo.jp/）からお申し込み下さい。

第三回 稚児行列

●日時…平成二十九年六月二十五日（日）
午前十時（午前九時集合）雨天決行
●会場…亀ヶ池八幡宮境内
●参加年齢…満四歳から満七歳（定員七十名）
●参加費…一五、〇〇〇円（祈祷料・御守・おみやげ・レンタル稚児衣装・足袋・ぞうり・着付料・集合写真代すべて含む）
●申込締切…平成二十九年六月十八日（日）

夏越大祓式（茅の輪くぐり神事）

●斎行日…平成二十九年六月二十五日（日）
●式典…午後三時
●半年の罪穢を人形に移し清めて、心身共に蘇るお祭りです。お申し込みは、当八幡宮までご連絡下さい。（当日も受付けいたします。）

［発行・お申し込み・お問い合わせ］亀ヶ池八幡宮社務所
〒252-0243 神奈川県相模原市中央区上溝1678　TEL.042-751-1138　FAX.042-757-3811
E-mail:info@kamegaike.jp　URL http://www.kamegaike.jp/

亀ヶ池八幡宮　神社本庁総長　田中恆清 謹書

【表紙社名】神社本庁　総長　石清水八幡宮　宮司　田中恆清氏

年頭のご挨拶

宮司　根岸信行

明けましておめでとうございます。平成二十九年の年頭にあたり新春のお慶びを申し上げますと共に、謹んで聖寿の万歳と皇室の彌栄並びに氏子崇敬者皆様の平安とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年の四月中旬に発生した熊本県地震は人的物的被害は甚大なものとなりました。なかでも熊本県民の誇りとしている熊本城の天守閣の倒壊は奇跡的にも免れましたが城内の被害は大きく、また創建二三〇〇年の歴史を有する阿蘇神社は重文の楼門はじめ拝殿・翼殿等の建物が全壊し想像を絶する被害を受けました。

今後一日も早い修復、復旧を心より願っております。

暗いニュースが多いなか、明るいニュースもありました。七月下旬から開催されたリオ・オリンピックパラリンピックで五十数年前に開かれた東京オリンピックの時以上の多くのメダルを獲得しました。

念願であった体操日本の団体優勝、国技である柔道の復活、陸上ではアジアで初の八百メートルリレーで銀メダルを獲得、水泳も実力を発揮するなど、国民に勇気と希望を与えてくれました。

ところで、今年の干支は酉（鳥）です。神代の昔、天岩屋戸に天照大神がお隠れになり世界が真っ暗闇になりました。そこで八百万の神が集い、鳥の鳴き声に合わせて神々が賑やかに舞い踊ったところ、大神が天の岩戸から出現し再び世の中が明るくなり人畜草木山川総てが活気を取り戻し平和な国に蘇りました。

この酉年に肖り、国の安寧と国民の平穏を願い、佳き年でありますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

平成二十八年 例大祭斎行

9月18日（日曜日）、午前10時より当八幡宮例大祭が斎行されました。

毎年例大祭は台風の時期で天候が心配されておりますが、今年も秋雨前線の影響から雨がポツリポツリと降り、祭典開始時刻には生憎の雨天となり、修祓を回廊で雨儀にて行い、その後宮司以下祭員、献幣使、総代氏子崇敬者は御社殿へ参進いたしました。

式典では皇室の彌栄、国家繁栄、氏子崇敬者の安泰を祈願する祝詞を根岸宮司が奏上し、続いて神社本庁よりの幣帛が献幣使により大神様に献ぜられ、また番田神代神楽が奉納されると、祭典は厳粛に執り納められました。

天気は次第に回復に向かい、すっきりと晴れ渡った秋空の下でお囃子奉納や氏子有志奉納演芸等の神賑行事が催され、境内は参詣者らで大変な賑わいとなりました。

御造営記念碑除幕式

9月18日例大祭に先立ち、奉賛会役員参列のもと、当八幡宮御鎮座八百年奉祝記念・平成の御社殿御神門等御造営事業の完遂を祝って、御造営記念碑除幕式が執り行われました。この立派な記念碑はこの度の御造営に至るまでの経緯と、社殿建設という大事業に尽力頂いた氏子崇敬者を顕彰するために建立されたものです。

御造営記念碑全文

相模原一受けたい授業 in亀ヶ池八幡宮開催

11月6日（日曜日）、当八幡宮参集殿にて公益社団法人相模原青年会議所青少年育成委員会によります「相模原一受けたい授業」が催されました。講師にはテレビでお馴染みの歴史コメンテーター金谷俊一郎氏を迎えて「歴史から学ぶ思いやりの心」と題して、子どもとその親御さん等約150名の生徒が出席し講義が行われました。

1時間目は相模原の縄文時代からの講義で、現在の相模原の良きところを知るためのポイントを金谷先生がお話しされ、また思いやりの心について「教育勅語」を子ども向けにわかりやすく解説されていました。

2時間目はその内容が今の自分たちができているか気づくための実習形式で行われ、配られた資料を通し現状の自分を知る機会としました。

3時間目は、日本の伝統に触れる意義で、当八幡宮へ正式参拝をし、神前神楽の奉納を見学されました。

夏越大祓 茅の輪くぐり神事

境内に蝉の鳴き声が響き渡り出した七月三日（日曜日）午後三時より、三百人を超える氏子崇敬者が参列のもと、第三十一回夏越大祓茅の輪くぐり神事が執り行われました。

宮司以下祭員と一緒に参列者も大祓詞を奏上し、気持も新たになったところで、伶人の道楽に続いて青々とした茅の輪をくぐり、過ぎた半年間に犯した罪や穢を祓い清め、残り半年を無事健やかに過ごせるように祈念いたしました。

第2回 稚児行列

去る7月3日（日曜日）、午前10時より第2回お稚児さん行列が執り行われました。

ちびっこ達は古式ゆかしい装束を身に着け、きらびやかな天冠を頭上につけて、手持ち花を持って準備が整いました。それぞれ親御さんに見守られながら参集殿前を発ち、鳥居を潜り境内に入り参道を進み、神苑を無邪気に元気よく行進する様は大変微笑ましく和やかな行事になりました。お子様の健やかな成長をご祈念申し上げます。

相模原市氏子総代会第三回管内神社視察研修 下溝八幡宮正式参拝

相模原市氏子総代会第三回管内神社視察研修が十一月三十日に行われました。

総代・神職約六十有余名が参加し当八幡宮の奉務神社であります南区下溝に鎮座する下溝八幡宮を正式参拝いたしました。

参拝後、根岸宮司による挨拶、下溝八幡宮井上総代長による神社と地域の沿革についての説明があり、各々の奉仕神社の護持運営に役立つ様々な知識と教養を深めることができました。

その後は昼食をとり、史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館（通称：旧石器ハテナ館）に移動し、一時間程の見学ツアーでしたが、日本ではここでしか見ることのできない貴重な二万年前の建物跡を見学したり、古代から栄える相模原の歴史を学び、それぞれ無事帰途に着きました。

神奈川県神社庁相模原支部 神宮大麻頒布式 亀ヶ池八幡宮にて斎行

秋深まり楓も色づき始めた十一月二日、当八幡宮に相模原市内の宮司・神職が集まり神宮大麻頒布式を斎行いたしました。

当八幡宮根岸信行宮司の祝詞奉上により、神宮大麻（通称：お伊勢さん）が、相模原市内の各神社に頒布され、その後広く氏子崇敬者各ご家庭に遍く行き届き、お伊勢さんのご加護を以て家内安全の旨を大神様にお伝えいたしました。

その後、神前から撤下された神宮大麻は、当八幡宮禰宜・相模原支部根岸浩行支部長に代表して手渡されました。